

第53回県政に関する世論調査の活用について

平成28年11月から12月にかけて実施した第53回県政に関する世論調査について、県の諸施策・事業等へ活用した例をご紹介します。

(1) 県政全般に関する意識調査（総合企画部 政策企画課）

新たに総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」(平成29年10月)を策定するにあたり、各施策を検討する上で調査結果を活用しました。

具体的な活用例としては、「就労支援や働きやすい環境づくりの促進」について、県の施策を評価する意見の割合が、評価しない意見の割合よりも低かったため、総合計画の経済に関する政策分野として、新たに「経済の活性化を支える人づくり」を設けました。この中で、「女性の活躍推進」と「雇用対策の推進と産業人材の育成」の施策項目に取り組むこととしています。

(2) 医療について（健康福祉部 健康福祉政策課）

前回調査(第49回)の結果と比較して、県内の医療の満足度は増加傾向にありつつも、「満足している」との回答が4割台半ばにとどまっていることから、引き続き医療サービス体制の充実を図る必要があることが分かりました。

千葉県保健医療計画の改定(平成30年3月)にあたっては、この調査結果を基礎資料として活用しました。

この計画では、高齢化の急速な進展に伴う医療需要の増加に対応した、安心して質の高い医療提供体制の構築に向け、医療機関の役割分担や連携の促進、在宅医療の推進、医療人材の養成確保などに取り組むこととしています。

(3) 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

(県警本部 警務課)

警察に力を入れて取り締まってほしい犯罪を聞いたところ、「飲酒運転、ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」との回答が5割以上で、最も多いことが分かりました。

調査結果を基に飲酒運転撲滅へ向け、各種キャンペーンや交通安全教室のほか、県警ホームページ、ツイッターを活用し、交通安全教育を受ける機会の少ない世代に対しても幅広く広報啓発を行うとともに、地域の飲食店組合等と連携した「飲酒運転根絶協議会」の新規設立や活動の活性化を促し、飲酒運転根絶に向けた気運の醸成を図っています。

また、安全で安心できる生活を守るために必要なこととして、「街頭防犯カメラを普及させるなど、犯罪の防止対策を推進する」との回答が4割以上で最も多いことが分かりました。今後、県内主要駅周辺の繁華街を中心に街頭防犯カメラを計50台設置する予定です。

(4) 心肺蘇生法及び AED (自動体外式除細動器) について

(健康福祉部 医療整備課)

心肺蘇生法及び AED の使用ができないと回答した人に理由を聞いたところ、「やり方(使用方法)が分からない」との回答が最も多く、また「応急手当の講習を希望する場所」は、「学校(授業の一環)」が最も多いことが分かりました。

この調査結果を基に、「千葉県 AED 等普及促進計画」(平成 29 年 9 月)では、救命講習の受講者数や学校での救命講習の実施率について、数値目標を設定しました。また、AED 普及啓発強化月間を活用した普及啓発を計画に位置づけ、平成 29 年度の AED 普及啓発強化月間では、救命講習の受講を促すポスター及びリーフレットを学校等に配布しました。

(5) 環境保全に関する取組について(環境生活部 循環型社会推進課)

「省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」を、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している(計)』が 70.9%で、前回調査(第 51 回)の 70.4%とほぼ同じ結果となり、家庭における省エネをさらに促進していく必要があることが分かりました。

この調査結果を踏まえ、省エネ家電への買換えを促すため、買換えのメリットや省エネ性能に関する情報等を記載した県民向けのチラシを新たに作成したほか、冬に実施している家庭向け省エネキャンペーン「我が家の CO2CO2(コツコツ)スマート大作戦」について、平成 29 年度は通常の節電・省エネの取組に加え、省エネ性能が 5 つ星の家電への買換えも促すキャンペーン内容としました。



学校における AED 講習の授業風景



「我が家の CO2CO2(コツコツ)スマート大作戦」ポスター